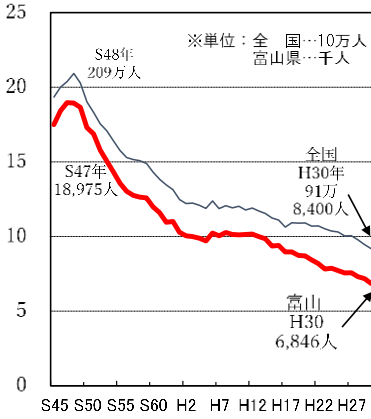


富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状

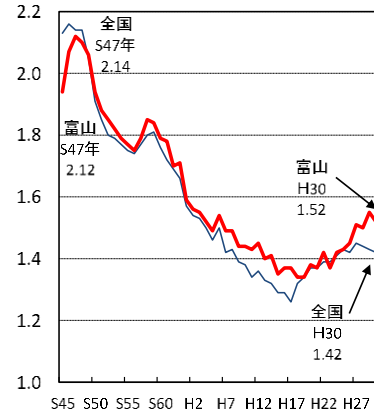
(1) 出生数は年々減少

出生数は平成30年には7,000人を割り込み、6,846人となっている。合計特殊出生率は4年連続1.50台を維持し、1.52となっている。

◎出生数の推移(全国・富山県)



◎合計特殊出生率の推移(全国・富山県)



資料：人口動態統計(厚生労働省)

資料：人口動態統計(厚生労働省)

0歳児の男女別人口は男性が209人多く、20代で男性が3千人多くなっている。女性が県外に流出している。

◎年齢別男女別人口(富山県) (単位:人)

年齢	男女計	男	女
0	7,063	3,646	3,417
1-4	29,495	15,168	14,327
5-9	40,115	20,661	19,454
10-14	44,705	23,012	21,693
15-19	49,852	25,595	24,257
20-24	43,457	23,429	20,028
25-29	43,147	23,026	20,121
30-34	49,781	25,906	23,875
35-39	57,393	29,618	27,775
40-44	74,143	38,236	35,907
45-49	78,773	40,394	38,379
50-54	64,537	32,194	32,343

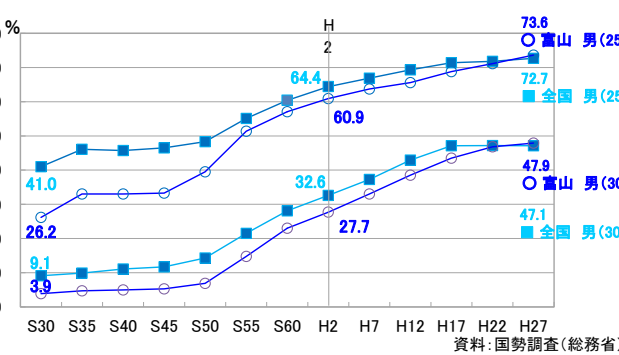
	男女計	男	女
15歳未満	121,378	62,487	58,891
15~64歳	587,213	300,270	286,943
65歳以上	332,619	141,451	191,168
年齢不詳	9,036	5,250	3,786
合計	1,050,246	509,458	540,788

(平成30年10月1日現在)

(2) 未婚化が進行

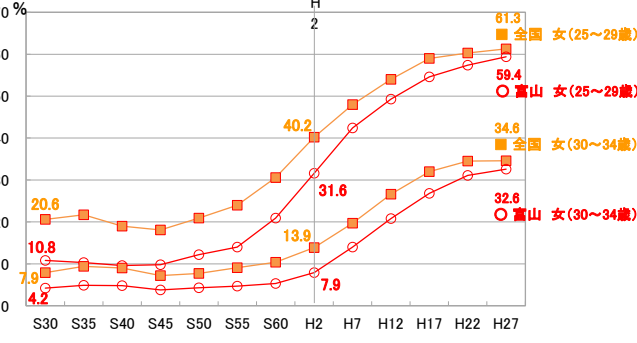
男女ともに未婚化が進んでおり、特に男性の未婚率は25~29歳、30~34歳ともに全国平均を上回っている。一方で、20代、30代未婚者の83.3%は「将来結婚したい」と回答(R元:県調査)している。また、男女の未婚者数には差異があり、男性の未婚者数は、30代で25,269人となり、女性の未婚者を約1万人上回っている。

◎男性未婚率の推移



資料:国勢調査(総務省)

◎女性未婚率の推移



◎未婚者・有配偶者数(富山県男女) 単位:人

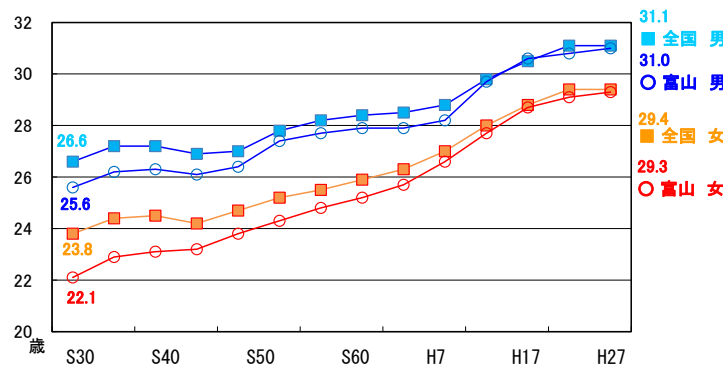
	男		女	
	未婚	有配偶	未婚	有配偶
20歳	4,198	62	3,786	107
25歳	3,980	623	3,158	974
29歳	3,076	1,908	2,166	2,488
20代合計	37,927	7,030	31,217	10,089
30歳	2,812	2,199	1,973	2,781
35歳	2,383	3,424	1,410	3,923
39歳	2,578	4,809	1,324	5,244
30代合計	25,269	34,032	15,282	39,102
40代合計	20,622	50,462	10,599	55,636
合計	147,014	132,586	103,597	154,018

資料:国勢調査(総務省)H27

(3) 晩婚化が進行

平均初婚年齢は平成30年には男性31.0歳、女性29.3歳と男女ともに年々上昇し、理想の結婚年齢(男性29.1歳、女性27.1歳:R元:県調査)と開きがある。

◎平均初婚年齢の推移

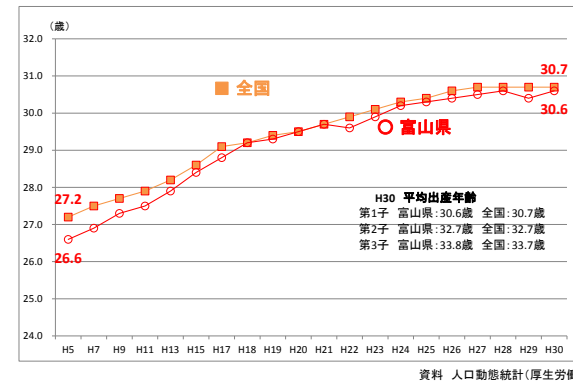


資料:人口動態統計(厚生省)

(4) 初産年齢が年々上昇

初婚年齢の上昇に伴い、晩産化の傾向が現れている。第1子出産年齢は30.6歳と全国より0.1歳低いが、第3子では全国より、0.1歳高くなっている。

◎平均第1子年齢の推移

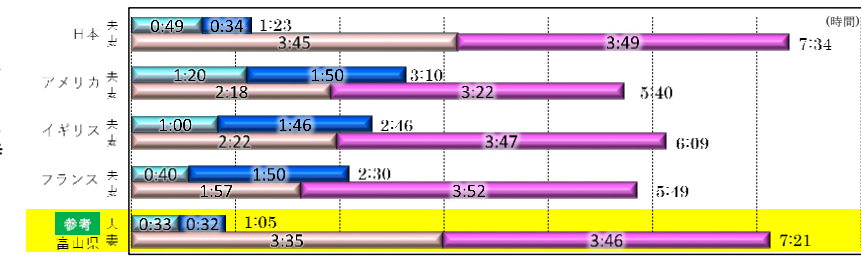


資料:人口動態統計(厚生労働省)

(6) 変わらない性別役割分担意識

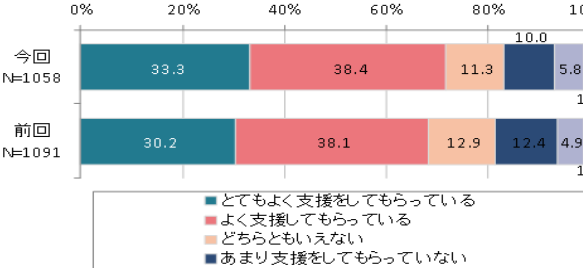
男性の育児休業取得率は依然として全国より低い。夫の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高い傾向があるが、6歳未満児の子どもを持つ夫婦の家事関連時間では、富山県の夫の家事育児時間は短い。

◎6歳未満児のいる夫婦の家事関連時間(1日あたり)の国際比較



出典:内閣府ウェブサイトより
総務省「平成28年社会生活基本調査」等

◎親からの支援



(7) 高い女性の就業率と共働き率

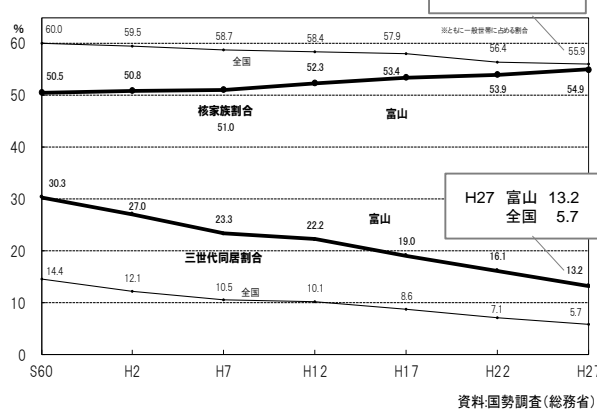
	夫が就業している妻の就業者数(A)	夫が就業している妻の非就業者数(B)	夫が就業していない妻の就業者数(C)	夫が就業していない妻の非就業者数(D)	共働き率(A)/(A)+(B)+(C)+(D)
夫婦のいる一般世帯(世帯数)	134,247	45,959	11,817	48,219	55.9%
子供なし	37,291	17,335	6,174	31,404	40.4%
子供あり	96,956	28,624	5,643	16,815	65.5%
最年少の子供が0歳	3,154	3,346	23	54	48.0%
最年少の子供が1歳	4,105	2,321	25	30	63.3%
最年少の子供が2歳	4,126	1,615	33	22	71.2%
3~5歳の子供(3歳~未就学児の子育て世帯)	10,808	2,393	452	252	77.7%
6~11歳の子供(小学生の子育て世帯)	19,824	3,533	452	252	82.4%
12~14歳の子供(中学生の子育て世帯)	10,147	1,489	452	252	82.2%

資料:国勢調査(総務省)H27

(5) 核家族化の進行

全国に比べて三世同居率は13.2%と高いが、核家族世帯の割合が54.9%と年々増加し、全国に近づいている。

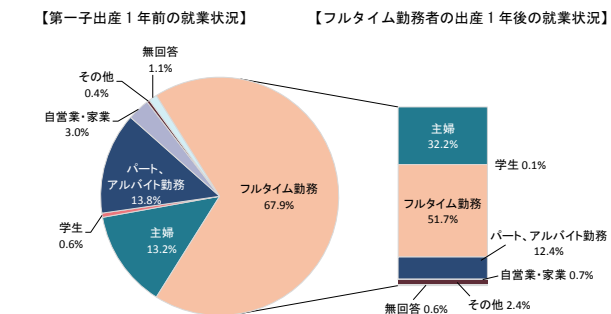
◎三世同居世帯比率及び核家族世帯比率の推移(全国、富山県)



資料:国勢調査(総務省)

本県の女性の就業率は高く、子どものいる世帯の共働き率も高くなっている。一方でフルタイム勤務の女性の約半数が、第一子出産を機に離職若しくはパート・アルバイト勤務等になっている。また、女性の労働力率と合計特殊出生率には正の相関関係がある。

◎女性の就業継続の状況



N=1,058 出典:富山県「子育て支援サービスに関する調査報告書(2017年)」